

第7回世界水フォーラム情報



Japan Water Forum
日本水フォーラム

(本書は、平成26年2月末時点の最新情報を基に作成しています。今後、準備過程において、第7回世界水フォーラムの主催者側の判断により内容が変更される可能性もありますので予めご了承下さい。)

目次

1. 第7回世界水フォーラム概要
2. テーマプロセス
3. 政治プロセス
4. 地域プロセス
5. 科学・技術プロセス
6. 水のエキスポ
7. 市民フォーラム
8. 第7回世界水フォーラムへの参画方法
9. 過去の世界水フォーラム

1. 第7回世界水フォーラム概要

- 世界水フォーラムは、3年に一度、世界中の水関係者が一堂に会し、地球上の水問題解決に向けた議論や展示などが行われる**世界最大級の国際会議**です。平成15年(2003年)には、第3回世界水フォーラムが日本の琵琶湖・淀川流域(京都・滋賀・大阪)にて開催され、日本水フォーラム設立の契機となりました。
- 第7回世界水フォーラムは、平成27年(2015年)4月に韓国にて開催されます。日本水フォーラムは、この場を、ミレニアム開発目標に代わる2015年より先の世界の将来像を共有し、その実現に向けた**日本の技術と経験を、これまで以上に効果的に示す絶好の機会と捉え、日本の関係者の皆様の参画を促すべく、準備活動を展開しています。**

第7回世界水フォーラム情報

- 第7回世界水フォーラム主催者 公式ホームページ
<http://www.worldwaterforum7.org>

- 日本水フォーラム 第7回世界水フォーラムページ
http://www.waterforum.jp/jp/what_we_do/pages/WWF/7th/index.php
※準備状況、準備会合開催情報など提供中

メール配信

- 関連情報をメールにて配信中(日本水フォーラム)
配信希望・お問合せは、7thwwf-prep@waterforum.jp

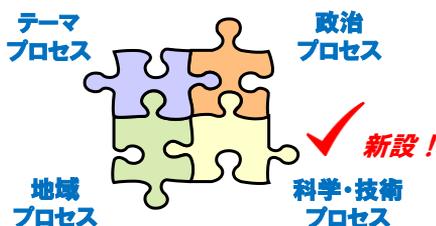
3

1. 第7回世界水フォーラム概要

世界水フォーラムは、テーマ、政治、地域、科学・技術の4つのプロセスと、水のエキスポや市民フォーラムなどのイベントで構成され、それぞれ準備が進められています。

開催期間	平成27年(2015年)4月12日(日)~17日(金)
開催地	韓国 テグ(大邱)市及び慶尚北道
主催	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界水会議(WWC) ● 第7回世界水フォーラムホスト国:韓国 (韓国国土交通部、外交通商省、大邱広域市、慶尚北道)
スローガン	Water for Our Future
参加者	3万人を予定(国際機関、各国政府・地方政府、研究者、市民グループ、企業・事業体など)
URL	www.worldwaterforum7.org/en/home/index

<4つのプロセス>



<サイドイベント>

- 水のエキスポ&フェア
- 市民フォーラム
- 併催イベント
(Co-located Events)
- 文化イベント

4

1. 第7回世界水フォーラム概要

会場とプログラム

テグ市
会場: EXCO



- 開会式及び閉会式
- テーマプロセス
- 科学・技術プロセス
- 水のエキスポ&フェア

慶尚北道キョンジュ市
会場: HICO



- 政治プロセス
- ハイレベルパネル
- 地域プロセス
- 市民フォーラム



5

2. テーマプロセス

テーマプロセスの構成

- 16テーマで構成(次ページのとおり)

具体的なプログラム等

- セッション:
各テーマについて、4つ程度の優先課題ごとにセッションを開催
- 特別プログラム:
 - 水のショーケース(Water Showcase): 課題解決の具体的な取り組みを収集・共有。高く評価された3つの事例に対して賞を授与
 - 特別セッション: 持続可能な開発目標(SDGs)等をテーマとしたハイレベル・パネル
 - 第7回世界水フォーラムで提示される解決策について、その実行をモニタリングする仕組みを導入(アクション・モニタリング・システム)

6

2. テーマプロセス

テーマプロセス: テーマ一覧

アクションゴール - 私たちが望む未来 / ACTION GOAL - The Future We Want

1. すべての人のための水の安全保障 / Water Security for All
 - 1.1 すべての人に十分に安全な水を / Enough Safe Water for All
 - 1.2 すべての人のために統合的なサニテーションを / Integrated Sanitation for All
 - 1.3 変化への適応: 強靱化と災害に対する備えのためのリスクと不確実性の管理 / Adapting to Change Managing Risk and Uncertainty for Resilience and Disaster Preparedness
 - 1.4 持続可能な水資源管理とサービスのためのインフラ / Infrastructure for Sustainable Water Resource Management and Services
2. 発展と繁栄のための水 / Water for Development and Prosperity
 - 2.1 食料のための水 / Water for Food
 - 2.2 エネルギーのための水 / Water for Energy
 - 2.3 水と都市 / Water and Cities
3. 持続可能性のための水: 人と自然の調和 / Water for Sustainability: Harmonizing Humans and Nature
 - 3.1 グリーン成長、ウォーター・ステewardシップと産業 / Green Growth, Water Stewardship and Industry
 - 3.2 水サービスと生物多様性のための生態系の管理と再生 / Managing and Restoring Ecosystems for Water Services and Biodiversity
 - 3.3 山の背から岩礁までの水質の確保 / Ensuring Water Quality from Ridge to Reef
 - 3.4 統合水資源管理のSMARTな実行 / SMART Implementation of IWRM

アクションツール - 変化への原動力 / ACTION TOOL - Engines for Change

4. 実現可能な実行メカニズムの構築 / Constructing Feasible Implementation Mechanisms
 - 4.1 革新的な投資のための経済と資金調達 / Economics and Financing for Innovative Investment
 - 4.2 有効なガバナンス: 政治的決断とステークホルダーの参加、技術情報の向上 / Effective Governance: Enhanced Political Decisions, Stakeholder Participation and Technical Information
 - 4.3 紛争の削減と越境水管理の改善のための協力 / Cooperation for Reducing Conflict and Improving Transboundary Water Management
 - 4.4 水文化、公正と平等 / Water Cultures, Justice and Equity
 - 4.5 教育の推進と能力向上 / Enhancing Education and Capacity Building

7

3. 政治プロセス

政治プロセスの構成

- 閣僚プロセス、国会議員プロセス、地方自治体プロセスで構成

具体的なプログラム等

- 閣僚プロセス / Ministerial Process:
水閣僚及び関連分野の閣僚の参加を得て、「閣僚宣言 / Ministerial Declaration」の準備と採択を行う
- 国会議員プロセス / Parliamentarian Process:
水の重要性を強調する「マニフェスト」を準備。水に関する法制定をサポートするヘルプデスクを設置予定
- 地方自治体プロセス / Local and Regional Authorities Process:
イスタンブール水コンセンサス (Istanbul Water Consensus)、気候変動や都市化などの主要な諸課題に対して、水インフラや水事業を適応させようとする地方自治体の行動指針。現時点で58ヶ国1,112自治体が署名)の署名自治体、優れた都市 (Champion Cities) を拡大

* 政治プロセス全体の会議、3つのサブプロセス (閣僚、国会議員、地方自治体) の会議、ハイレベルの円卓会議の開催を予定

8

4. 地域プロセス

地域プロセスの構成

- 世界を7つの地域に分類

具体的なプログラム等

- 地域の優先課題に基づいて、テーマプロセスで設定された16のテーマより、4つ～6つのテーマを選択し、セッションを開催

地域プロセスの地域分類と地域コーディネーター【 】内は地域コーディネーター

- アジア太平洋地域／Asia-Pacific【アジア・太平洋水フォーラム(APWF)、韓国水フォーラム(KWF)】
- アフリカ地域／Africa【アフリカ水担当大臣会議(AMCOW)】
- アメリカ地域／America【メキシコ国家水委員会(CONAGUA)、メキシコ国家水と衛生協会(ANEAS)】
- ヨーロッパ地域／Europe【デンマーク水フォーラム(DWF)、フランス水パートナーシップ(FWP)】
- アラブ地域／Arab【アラブ連盟】
- 地中海地域／Mediterranean【地中海水研究所(IME)、世界水パートナーシップ—地中海(GWP-Mediterranean)】
- 経済的水欠乏地域／Economic Water Scarcity【世界水パートナーシップ(GWP)、韓国水資源公社(K-water)、開発銀行: アジア開発銀行(ADB)、アフリカ開発銀行(AfDB)、米州開発銀行(IADB)等】

9

5. 科学・技術プロセス

科学・技術プロセスの構成

- 5つのメイン・フォーカスエリアで構成(次ページのとおり)

具体的なプログラム等

- 白書／White Papers:
科学・技術及びイノベーションに関する報告書を作成
一つのメインフォーカスごとに1～3のセッションを開催(事例のプレゼンテーション、実践的な情報共有)
- ハイレベル・パネル／CEOイノベーション・パネル:
* CEOイノベーション・パネル: 水セクターと水セクター以外のビジネス・リーダーが水分野のイノベーションの促進に向けて議論
- 世界の水問題／World Water Challenges: * コンペティション
メイン・フォーカスエリアごとに、課題を抱える者と解決策を提供する者をマッチング。課題(状況)を募集すると共に、解決策の提案を募集。選ばれた解決策の提案は、第7回世界水フォーラムでプレゼンテーションの場を与えられる。水のエキスポ会場で展開予定

10

5. 科学・技術プロセス

科学・技術プロセス: メイン・フォーカスエリア

- 水利用の効率化により、新たな水供給を創出する科学・技術の発展 / Evolving Science and Technology Creates New Water Supplies Through Water Use Efficiency
- 水循環からの資源回収を増大させる科学・技術の進展 / Evolving Science and Technology Enables Increased Recovery of Resources From the Water Cycle,
- 水管理のためのスマート・テクノロジー / Smart Technology for Water Management
- 自然災害への対応を可能にする、新たな科学・技術 / New Science and Technology Enhances Response to Natural Disasters
- 生態系サービスを劇的に増大させる、新たな生態学と生態工学 / New Eco-Science and Eco-Engineering Dramatically Increases Eco-System Service

6. 水のエキスポ

水のエキスポ(展示会)の構成

- 国、団体、企業によるブース展示と活動により構成

具体的なプログラム等

- 技術、製品、報告、サービスなどの実演・説明。出展団体(政府、国際機関、水関連機関、NGO、大学、研究機関を含む)により実施された、あるいは今後実施される活動に関する情報の提供

* EXCO(テグ市)1階部分と3階の展示ホールにて開催予定。出展申し込みは、平成26年5月頃より開始される見込み

* 日本政府が主催する「日本パビリオン」の出展が検討されている

EXCO展示ホール施設案内

<http://www.excodeaegu.co.kr/jap/guide/exhi.html>

6. 水のエキスポ

第7回世界水フォーラム「日本パビリオン」情報

第7回世界水フォーラムの展示会(水のエキスポ)において、日本の水に関わる経験・技術をこれまで以上に世界に強力にアピールするべく、日本政府内では、日本パビリオンの出展の検討がなされています。

～日本パビリオンへの参加のメリット～

▶ 政府及び参画企業、研究機関の技術や経験について、国際社会でのプレゼンスを活かし世界に発信します。水問題解決に向けた国際貢献と企業・団体の海外展開のきっかけを得る場として活用できます。

▶ 韓国で開催のため、アジア圏からの参加者も多く見込まれることから、海外展開の促進に繋がります。

※ 4月より日本パビリオン参加募集予定。多くの企業・団体の皆様の参加が期待されています。

第6回世界水フォーラムでの日本パビリオンの様子

日本パビリオンには、農水省、環境省、国交省の他、独法、民間企業、団体、研究機関等から合計15団体がブースを出展



パビリオン中央の共有スペースで
イベントを常時開催



企業等のブース



7. 市民フォーラム

市民フォーラムの構成

- 公募によるセッションの開催や活動の展開

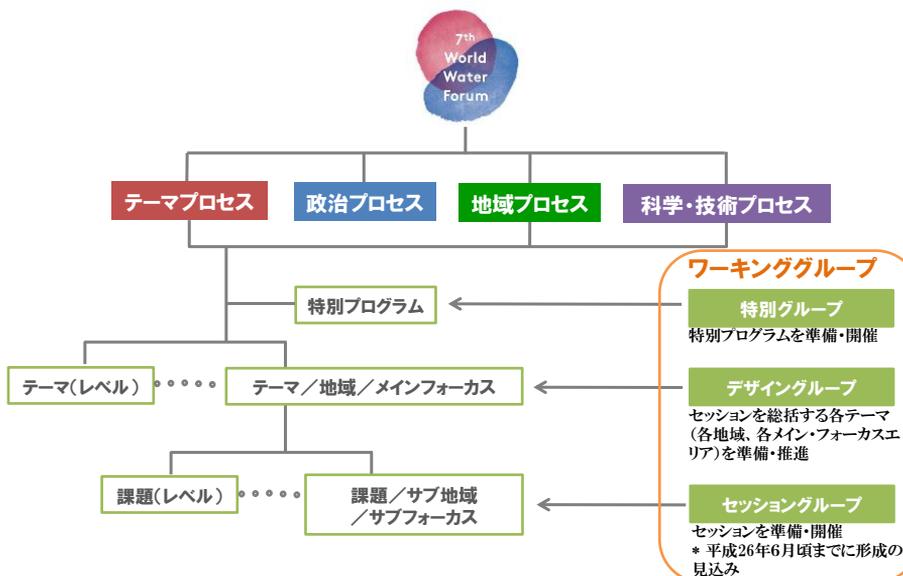
市民フォーラムで取り扱われることが提案されているテーマ

- ユース／Youth
- 女性・ジェンダー／Women/Gender
- 水倫理／Water Ethics
- 良い水を飲む権利／Right to Drink Good Water
- 農業従事者／Farmers
- 第7回世界水フォーラムのためのIT技術／IT for the 7th World Water Forum
- 水のメッセンジャー・キャンペーン／Water Messenger Campaign
- バタフライ・エフェクト／Butterfly Effect
- 水のための教育／Education for Water
- 映画祭／Film Festival
- 水とビジネス／Water & Business ほか

* 平成26年5月頃より公募開始の見込み

8. 第7回世界水フォーラムへの参画方法

各プロセスの構造

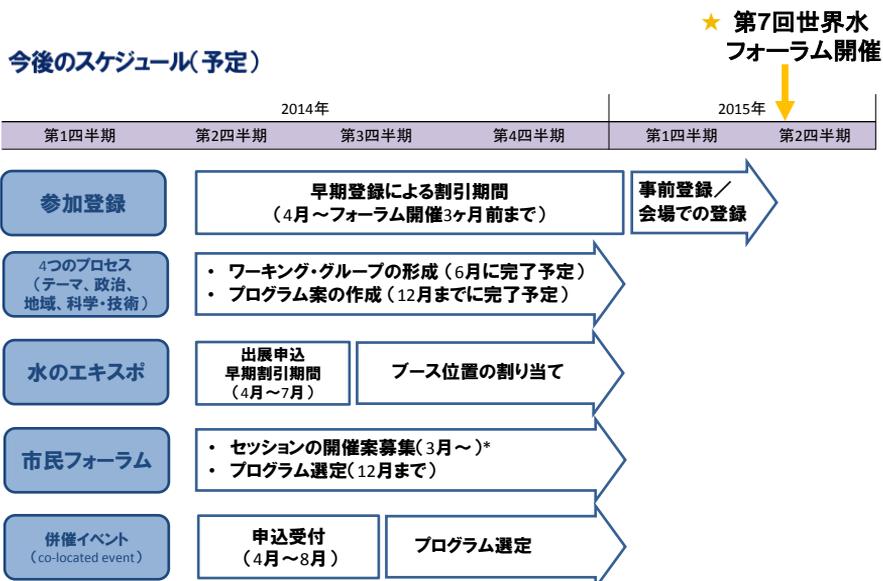


8. 第7回世界水フォーラムへの参画方法

第7回世界水フォーラムは、国際的な政策提言、関係者との合意形成、国際的な主張・PR、技術の提案、事例の紹介、ネットワーキングなど、様々な活用することができます。

参加形態	必要な手続き等	時期
セッションの主催・共催 【テーマプロセス、地域プロセス、科学・技術プロセス】	ワーキング・グループ(セッション・グループ)へ参加 セッション開催案の提出	セッショングループは、平成26年6月頃までに形成される見込み
セッション等の主催・共催 【市民フォーラム】	セッション等の開催案の提出	開催案の応募受付の開始は、平成26年5月頃の見込み
水のエキスポへの出展	出展申し込み	出展申し込みの受付の開始は、平成26年5月頃の見込み
	* 日本政府が主催する「日本パビリオン」の出展についても検討がなされており、そちらへ出展申し込みいただく方法も考えられます。	
技術等に関するコンペティションへの応募【科学・技術プロセス】	「世界の水問題」プログラムに、課題に対するソリューションを提案	応募受付(オンライン上)の開始は、平成26年4月頃の見込み
水のショーケースへの登録 【テーマプロセス】	「水のショーケース」へ水関連課題の解決事例を登録	登録受付(オンライン上)の開始は、平成26年7月頃の見込み
発表者、パネリストとして議論に参加	* セッショングループ等へコンタクトする、あるいは、先方からの打診により、発表機会等を確保する方法が考えられます。	
セッション、イベントの傍聴	参加登録申し込み	参加登録の受付の開始は、平成26年4月頃の見込み

8. 第7回世界水フォーラムへの参画方法



● 宿泊予約(6月～)(韓国政府住宅局経由)

* 市民フォーラムにおけるセッション開催案の募集受付開始は、5月頃からの可能性も

17

9. 過去の世界水フォーラム

■ 世界水フォーラムとは？

- 水分野で世界最大の国際会議
- 3年に1度開催
- あらゆるステークホルダーが集まり、水問題を議論
- 具体的な提案・提言をまとめ、問題解決のための行動を促進
- 具体的かつ継続的な政治的なコミットメントの発信
- オープンかつ建設的な議論の場



第1回世界水フォーラム	1997年	モロッコ(マラケシュ)	63ヶ国	500名
第2回世界水フォーラム	2000年	オランダ(ハーグ)	114ヶ国	5,700名
第3回世界水フォーラム	2003年	日本(京都・滋賀・大阪)	183ヶ国	24,000名
第4回世界水フォーラム	2006年	メキシコ(メキシコシティ)	168ヶ国	20,000名
第5回世界水フォーラム	2009年	トルコ(イスタンブール)	192ヶ国	33,000名
第6回世界水フォーラム	2012年	フランス(マルセイユ)	173ヶ国	34,000名
第7回世界水フォーラム	2015年	韓国(テグ市及び慶尚北道)	170ヶ国以上	30,000名の参加を想定

18

9. 過去の世界水フォーラム

開催日程	平成24年(2012年)3月12日～17日
開催地	フランス マルセイユ
主催	世界水会議(WWC)／第6回世界水フォーラムホスト国:フランス
スローガン	今、解決の時(Time for Solutions!)
参加者	15名の国家元首・首脳、173ヶ国の代表団、103名の閣僚級、250名の首長、250名の議員、900名の報道関係者を含め、政治・行政・民間(企業)・学界・市民社会(子ども・ユース含む)から3万人以上(うち、水のエキスポ(展示会)来場者16,000名)
開催された主な会議等	400以上の公開セッション、10のハイレベルパネル、閣僚会議、12の閣僚円卓会議、120のサイドイベント、水のエキスポ
主な成果	1,400の解決策の提案、100以上のコミットメント、各セッションのまとめ、閣僚宣言など



アジア太平洋地域会合
(議長: 森喜朗元内閣総理大臣)



水と災害ハイレベルパネル



水のエキスポ: 日本パビリオン

9. 過去の世界水フォーラム(海外民間企業の参加例)

ヴェオリアの取り組み

テーマ・セッションの主催(WHOと共催)

「コレラによる死亡者を根絶するための解決策」

- ヴェオリア環境財団が世界規模で実施している様々なプロジェクト例を紹介

* UNICEF WHOなど国連機関をはじめとする様々な国際機関や企業と共にセッションを開催

セッションでの発表

「先進国・開発途上国の水不足地域の都市における水再利用」

- 農業用の処理済み排水の再利用のためのISO/PC253標準化に向けた活動について発表

水のエキスポへの出展

